



インスピレーションになろう

第2730地区 鹿児島西ロータリークラブ



2月は
平和と紛争予防/紛争解決月刊

第2718回例会

会長 大山 康成 幹事 有村 春房 会報雑誌委員長 上之園 正幸

平成31年2月20日

● 例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3-1 山形屋7F 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30
● 事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F TEL: 099-223-5902 FAX: 099-223-7507

本日の主要
プログラム

鹿児島RC・鹿児島中央RCとの合同例会 18:30~ 山形屋食堂

- ① ロータリーソング(奉仕の理想) ② 4つのテスト唱和
- ③ 会長挨拶 ④ 出席報告

“鹿児島西ロータリークラブロータリー賞”とは

会長 大山 康成

鹿児島西ロータリークラブの歴史でかせない大きな柱のひとつに独自の表彰制度があります。ロータリー賞とは、ひとつのテーマに沿って、歴代の先輩方が一生懸命に考えた“あるべき思い”ではないかと考えます。社会の目立たないところで誠実に、継続的に意義のある社会奉仕活動を行っている個人、又は団体を顕彰する。クラブ内の推薦委員会で、時代を反映した奉仕活動を重視し、選考を経て受賞者を決め、毎年クラブの創立記念日に合わせて表彰式を行っています。最近では、会長予定者の登竜門のようになっています。第一回は、昭和40年、健康な赤ちゃんを産んだ母親の喜びを、少しでもいいから身体的に重い障害を抱えた子供たちに分かち与えられればと“おぎゃ献金”を提唱された、大口市の開業医の方を表彰しています。その後、その地域に根差した活動をやられている方々、子供会活動、福祉活動、伝統の継承、さまざまな立場に立たされている方への支援活動、新聞配達の少年少女、交通安全のおじちゃんおばちゃん。鹿児島市内に捉われず広く県内にも目が向けられています。

昨年度は、社会問題化している“待機児童問題”に焦点を当てました。待機児童とは、子育て中の保護者が、保育所又は、学童保育施設に入所申請をしているにもかかわらず、入所出来ない状態にある児童のことです。鹿児島市では委託事業として、日中保護者が家庭にいない小学生児童に対して、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全な育成を図る学童保育に携わっています。そして、その事業に中洲児童クラブの支援員として、14年の長きに渡り学童保育に携わる、支援員の方を推薦しました。

■ 前回の 例会(2月13日)の報告

会員数	76(67)名
出席数	38名
出席率	64.18%

■ 1月30日例会の訂正

出席率	47.76%
訂正出席数	43名
訂正出席率	64.18%

次回予告

2月27日(水) 12:30~ 山形屋
ゲスト卓話
鹿児島大学農学部助教 平 瑞樹 様

